

未来シミュレーターでみる 2040年の和歌山市は？

「未来シミュレーター」というプロジェクトをご存知でしょうか。千葉大学大学院の倉阪研究室、芝浦工業大学、国立環境研究所などが開発に取り組んでいるもので、全国の自治体の「25年後」の姿を明らかにすることで、地域に潜在している課題を把握してもらおうというものです。今回は「未来シミュレーター」で明らかになった和歌山市の25年後の姿を少しだけご紹介します。

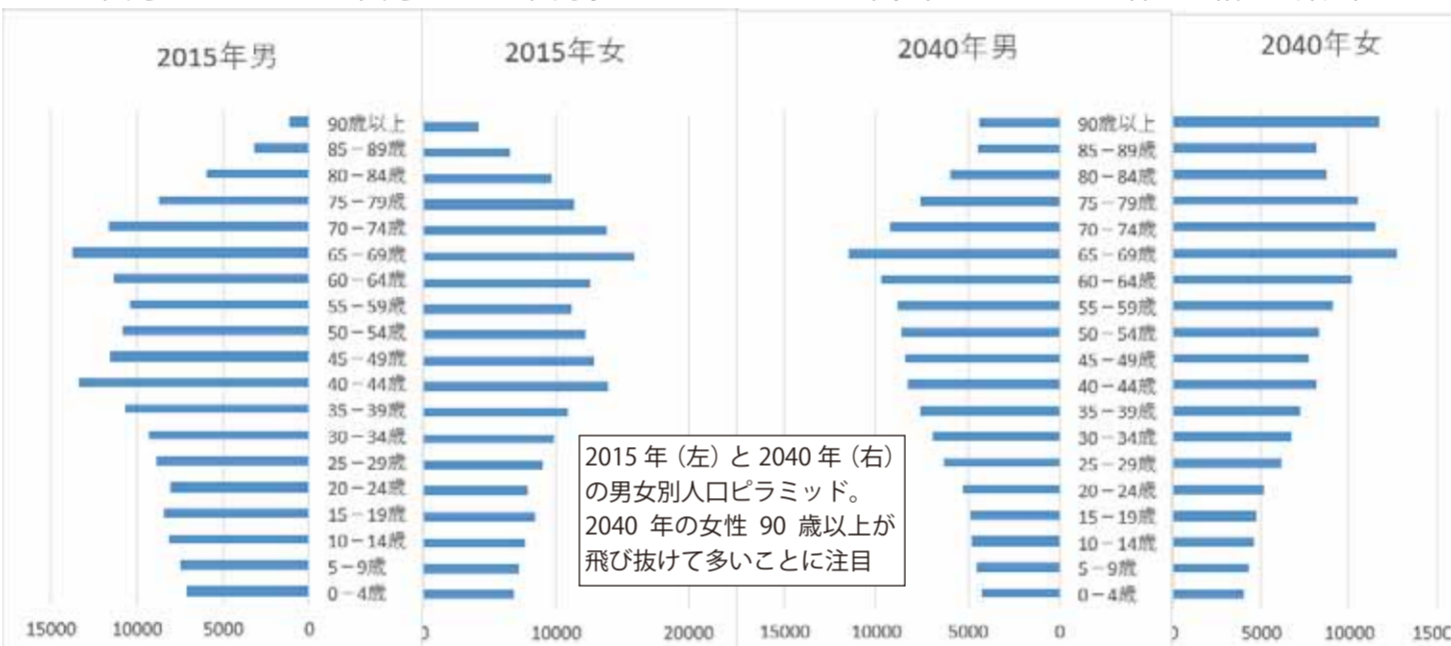
未来シミュレーターとは

わたしたちはいま、初めての「人口減少」の局面を迎えています。加えて、高度成長期に整備された各種インフラの老朽化、介護負担の拡大、耕作放棄地の増大など様々な課題を抱えています。

2015年の国勢調査の結果や国立社会保障・人口問題研究所の人口推計のほか、労働福祉、農林水産業、所得、行財政など、様々な統計データを組み込んで、2040年までの25年間の産業構造や保育・医療・教育・介護等の需給ギャップ、行財政の推移などを、自治体単位で推測するのが「未来シミュレーター」です。現在、未来シミュレーターで得られる予測を「未来カルテ」として簡単に提供できるプログラムが配布されています。

形が変わる人口ピラミッド

2015年の国勢調査の結果、和歌山市で一番人口が多い年齢層は65～69歳の団塊の世代、次に多いのは40～44歳の団塊ジュニア世代でした。25年後の2040年の人口構造をみると、団塊ジュニア世代が一番人口が多くなり、ここを頂点に山型となっているのがわかります。ただし

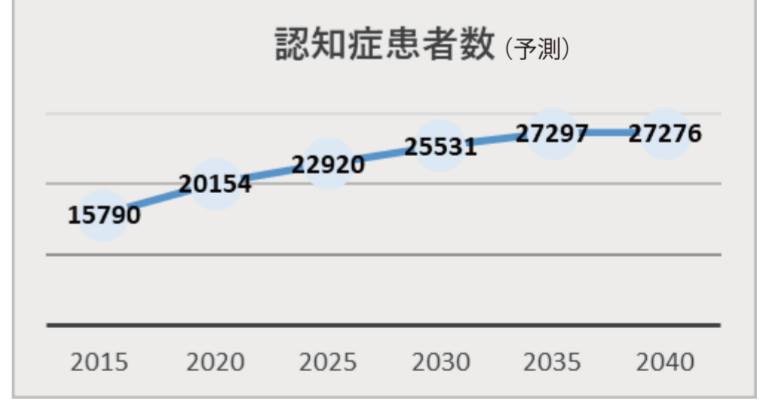
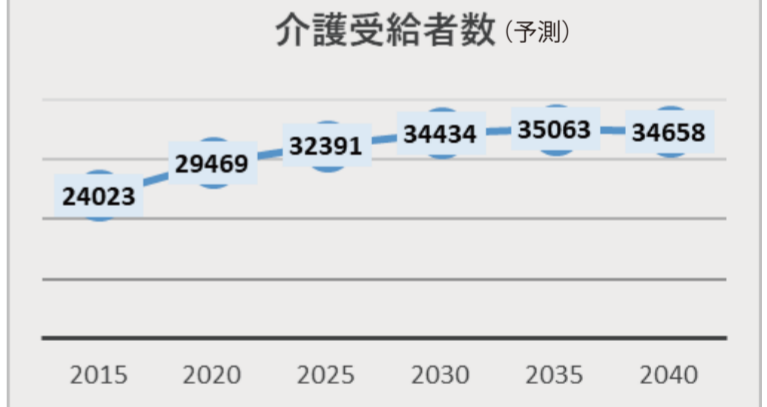


2015年(左)と2040年(右)の男女別人口ピラミッド。2040年の女性90歳以上が飛び抜けて多いことに注目

就業の形も変わる

女性に限ってみると90歳以上の人口が極端に多いことがわかります。和歌山市の就業人口は2015年の17.5万人から2040年は12.6万人と、25%以上の減少が見込まれています。年齢ごとに就業している業種の割合を固定して比較した場合、建設業や小売業、製造業などに携わる人口が大幅に減少する反面、医療・福祉、生活関連サービス業に携わる人口はそれほど減少

しないようです。ここ最近AIの発達によって仕事のあり方が大幅に変わるかも、といった話題が世間を賑わせていますが、AIが大幅に就業人口が減少する職種をカバーできなくなる存在になるのか、要注目ですね。



このままでは和歌山市は赤字に？
行政の歳入・歳出を人口に連動させる形で予測した結果は、2020年には歳出が歳入を上回り赤字になる予測。特に2035年頃が赤字のピークとなる予測です。これまでも異なる増収策や歳出の抑制を進めることが求められそうです。

公共財の維持は重荷に

過去にも「わかやく」で取り上げた、公共施設や道路・水道等のインフラの維持・管理。この予測では、人口1人あたりの公有財産建

介護需要はまだまだ増える
高齢者が増加するということ
は介護保険制度を必要とする方も増加するということ。
以前「わかやく」でもご紹介しましたが、和歌山県は介護保険の要支援・要介護認定率が全国ワースト1位。和



緊急企画 「平成30年7月豪雨」被災地に和歌山の梅干しを贈ろうプロジェクト

このたびの豪雨で被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。今後、被災地では暑さのなか、復旧・復興作業が進められることとなり、その環境は極めて厳しいものになると思われます。7年前に紀伊半島大水害を経験した和歌山県から、豪雨被災地へ少しでも恩返しができるように「和歌山の梅干しを贈ろうプロジェクト」を実施します。
わかやま NPO センターのウェブサイト (<http://www.wnc.jp/>) から特設サイト「【緊急募集】平成30年7月豪雨被災地に和歌山の梅干しを贈ろうプロジェクト」へ。クレジットカード決済で1口3,000円のご寄付を募っています。3,000円でおおよそ20個の南高梅を被災地にお届けできます。みなさまの暖かいご協力をお待ち申し上げます。

物への維持管理費用は年間3.9万円から25年で5.0万円に、人口1人あたりの道路の維持費用は0.6万円から0.7万円に、それぞれ負担が増えるという予測です。道路に比べて、建物の維持費の増加割合が大きいのが気になります。

未来シミュレーター、未来カルテは「未来のストックが見える OPoSSuM (オポッサム)」で提供されています。「未来カルテ」は Microsoft Excel 形式でダウンロード可能。紙幅の関係で本稿で取り上げられなかった他の推計もあります。 <http://opossum.jpn.org/>



みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

- おつきあい「力」UP しませんか！
相手に気持ちが通じるコミュニケーション方法「アサーティブ」で、「おつきあい力」を高めませんか。
日時 7月22日(日) 10:00～12:00
場所 和歌山ビッグ愛9階会議室A
講師 谷水美香さん(NPO法人アサーティブジャパン認定講師)
参加費 500円(資料代)
定員 20名(申し込み必要)
問い合わせ・申込み 和歌山イコール会議・地域づくり部会(090-2195-5458、n27o5b8u@yahoo.co.jp、井口さん)
- 芝居の読み聞かせ、めだかすくいなどの体験、参加無料のコーナーに加えて、かき氷や駄菓子、フランクフルトの販売なども。
日時 7月28日(土) 11:00～15:00
場所 紀三井寺公園・競技場前ひろば(中央トイレ前通路)
参加費 無料。商品は有料です。
問い合わせ 一般社団法人和乃絆・就労移行支援事業所マイバレット(073-412-8010)
- 筋疾患講演会・個別相談会
筋疾患の患者、家族、教育・保健・福祉・医療関係者などを対象とした講演会です。
日時 7月28日(土) 13:30～16:30
場所 県立情報交流センター Big・U
定員 講演会 50名、個別相談会 6名
参加費 無料(申し込み必要、7月20日締め切り)
問い合わせ・申込み 和歌山県難病・子ども保健相談支援センター(073-445-0520)
- 共育支援メニューフェア
学校や生涯学習、企業研修等の現場で使える様々な学習メニューの「見本市」です。
日時 7月24日(火) 14:00～16:00
場所 和歌山県立体育館
参加費 無料
問い合わせ 和歌山県生涯学習課(073-441-3725)
- めだかと夏祭り2018
めだかの展示販売のほか、紙